

資料3 - E 間伐を実施しない森林所有者の永続性を担保するために実施した説明会等

間伐を実施しない森林所有者の永続性について

平成20年4月20日 中山静修総合施業団地に属する周辺の所有者と現地において面談し、当面、間伐の可能性はあるものの、主伐や転用の計画が無いことは確認した。

最大の所有者であるF氏は、地域の林研グループのリーダーでもあり、また、子息が市役所森林政策課に勤務していることもあり、今後とも模範的な適切な森林施業を継続していくことが予測できる。

平成21年10月2日 当該団地の代表者村松昭夫氏と面談し、J-VERプロジェクト申請について説明した。

村松氏は、森林組合監事を勤めており、今後とも施業計画に沿って補助事業を森林組合に委託して施業を進めていく意向である。従って、他の所有者も今後とも適切な森林施業を継続していくと予測できる。